

授業例  
1

2年生「分けた大きさの表し方(分数)」

取材日：2016年2月、3学期

1 授業始めに、  
まずウォーミングアップ!



2年生担任  
旭 邦夫先生

学習するコンテンツ  
までの手順を説明  
するね。(約2分間)

操作しやすく、分かり  
やすい画面の構成だから、  
子どもたちもすぐに  
使い方をマスター!

2 かけ算の練習に挑戦!  
(今日は3分間を2セット)



\*2学期に学習したかけ算を、まずはしっかり  
復習します。

3分間で何問解けるかな?  
30問解ける人もいるね。

解答の正誤を自動判定!  
自分のレベルに合った  
問題を自分のペースで進  
められる!

3 タブレットを机に入れて、  
通常の分数の授業へ



\*かけ算の復習の後は、分数の授業を行います。

授業の最後にもう一度使うので、  
タブレットは机に片づけ  
ましょう。

4 最後の5分は、今日学習した内容の  
問題にチャレンジ



昨日より、たくさん  
の問題にチャレンジ  
できるかな?

「算数ゲーム」のコンテンツ  
で、 $\frac{1}{2}$ や $\frac{1}{4}$ の大きさを  
おさらいしました。

子どもが夢中で取り組み、  
学習意欲が向上する  
「デジ計」(無料デジタル教材)!!

\*光文書院発行の計算ドリルの教師用ふるくです。

知っていましたか?

教師用ふるくの『デジ計』には、  
学習者用コンテンツも充実して  
います。今回は、東京都荒川区立  
第三峡田小学校を訪問し、実際  
どのように使われているか  
取材してきました。



デジ計  
デジタル計算ドリル

ココが  
よかった!

活用術!

個人で学習できる点がとてもよいです。例えば、九九の段も、児童の学習の理解度に応じて難易度を決めて、複数の段を選択できるので取り組みやすいです。また、友だちと比べるのでなく、「昨日は3問解けたから、今日は、1問でも多く解いてみよう!」という指導がしやすいです。子どもたちの表情から、やる気にもつながっていることが分かります。

子どもたちはタブレットだと、  
夢中で取り組むんですね。

## 1年生「たしざんとひきざん」

授業の導入で、デジ計を使ってひき算の練習を行いました。

ペンを使ってひき算に挑戦！

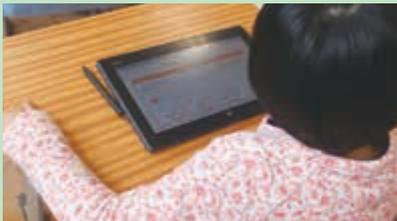


指書きでひき算に挑戦！

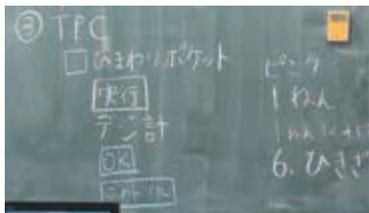


\*得意なほうでやるように指導しています。

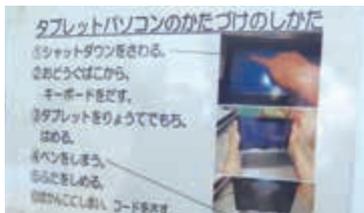
誤答問題の確認



誤答問題のふり返りも  
できる！



黒板には授業前に、今日行うコンテンツの操作手順を書いておきます。



自分で片づけができるようタブレットの保管庫に貼っています。

一年生は、キーボードがあると混乱してしまうので、タブレットだけで使える『デジ計』はとても使いやすいです。授業の始めに何度も使用しているうちに、今では準備も片づけも自分たちでスムーズに行えるようになりました。

無駄な操作がなく、一年生でもすぐに使えるようになりますね。

1年生担任  
原田 千里 先生

先生は教室をまわって、子どもたち一人ひとりの取り組みの状況をチェックします。



一斉授業でも個別学習でも使える豊富なコンテンツが魅力です。



## 漢字・計算の学習者用コンテンツを紹介します！

デジ漢  
デジタル漢字ドリル



おすすめのコンテンツ

デジタル漢字辞典デジてん



- 漢字一字ごとの情報を収録！
- 書き順・成り立ちアニメーション
- 難しい熟語の意味も分かる(3~6年用)

アニメーション

動く

★書き順アニメーションで、みんなで空書きも！

おすすめのコンテンツ

漢字書きマスター



とめ・はね・はらいも判定します！

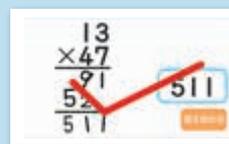
★書き順と字形を自動判定！

デジ計  
デジタル計算ドリル



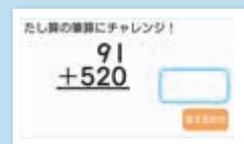
誤答に応じた治療問題

自動採点



間違えたら...

既習の計算の治療問題



何と！  
誤答に応じて、  
治療問題が  
変わる！

特許  
申請中！

★今年度より、1~6年の計算単元に対応しました！